札幌圏

天使病院

社会医療法人母恋

指導責任者密着型熱血研修病院

■病院の概要

令和４年12月１日現在

医　師　数：60人
病　床　数：260床（一般260床）
外来患者数：609.1人/日（令和３年度実績）
入院患者数：160.3人/日（令和３年度実績）
待　　遇：１年目380千円/月　賞与なし
　　２年目430千円/月　賞与なし

指導医数	研修医数	救急搬送患者数	手術件数
32 人	11 人	5499 人	1432 件
		（令和３年度実績）	（令和３年度実績）

■初期臨床研修プログラムの一例

・2020年度の臨床研修制度改定に伴い「7科必修プログラム」を採用しています。
・初めの１ヶ月は社会人として、医師として、研修生活に慣れるため「総合研修」を実施。３週目には他部署とのコミュニケーションを図ることを目的とした「コメディカル研修」などを行います。
・毎週金曜日に1週間で学んだことを報告する「研修報告会」、各科の知識を満遍なく吸収できるよう「モーニングレクチャー」や「外来英語研修」、「心肺蘇生講習会の講師」などを行います。

	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
1・2年目	総合研修（1年次4月）	内科（24週以上）※１年次に修了が望ましい						救急12週以上（麻酔科は４週まで救急に含む）※１年次に修了が望ましい			外科	小児科	産婦人科	精神科（2年次）	地域医療（2年次）	選択科目											

■プログラム責任者からのメッセージ

院長補佐・臨床研修室長
山本　浩史

研修医がHAPPYであることを第一に考えています。研修がHAPPYになるように研修医が自分たちで考え、その環境を整備することが、病院職員の使命であると常に考えています。２年修了時に楽しかったことや辛かったことを笑って話せる研修を目指しています。

■研修医からのメッセージ

研修医２年目
千田　滉

当院の初期臨床研修は、基礎を固める充実したプログラムと各研修医の自主性を反映したプログラムで構成されています。当院の臨床研修プログラムの特徴として、週１回のモーニングレクチャーと研修報告会、外科・小児外科カンファレンスがあります。

モーニングレクチャーでは各診療科の先生に研修医向けの講義をしていただき、知っておくべき各科の基礎知識に触れることができます。研修報告会では研修医同士で１週間の間に学んだことや気がついたこと、反省例などを共有し合い、臨床研修担当の山本先生から直接フィードバックをいただきます。外科・小児外科カンファレンスではプレゼンテーションの基本や医学的に正しい言葉遣い、患者さんの病態把握の方法や手順を実践から学べます。

これらは長い医師生活の土台となる基礎を固め、自ら疑問を持ち学んでいくことにとても役立つと感じています。

そして、各診療科のローテーションは研修医の希望を反映したものとなっています。ローテーションは年度途中でも変更可能なので、研修医生活を送る中で新たに興味を持った科や深く学びたくなった科を回ることができるのは研修医にとって大きな利点です。４月の約１ヶ月間の総合研修中には１週間のコメディカル研修期間があり、各検査の部署の仕事を体験できます。どこの科にいてもお世話になる部署なので、４月の間に仕事内容を把握し顔合わせしておくことはその後の病棟業務を円滑にしてくれます。

また各診療にあたる職種の方だけでなく事務の方々との距離が近いのも特徴の１つです。多くの研修医は医師１年目であると同時に社会人１年目であり、社会人として分からないことも多いですが、そんな時も気軽に相談できます。医師としての基礎を築く初期研修の２年間をこうした環境で過ごすことで、知識や技術だけでなく協調性やコミュニケーション能力を磨くことができます。「百聞は一見にしかず」との言葉もありますので、雰囲気を感じてもらうためにもぜひ一度遊びに来てみてください。大歓迎でお待ちしております。

■連絡先

ADDRESS
〒065-8611　札幌市東区北12条東３丁目１番１号
PHONE
011-711-0101
担当部署
天使病院総務課　林・高垣
E-MAIL
res-office@tenshi.or.jp
URL
https://www.tenshi.or.jp

■専門研修プログラム（基：基幹施設、連：連携施設）

基	連	領　域	基	連	領　域	基	連	領　域
	●	内科		●	眼科			臨床検査
	●	小児科		●	耳鼻咽喉科			救急科
		皮膚科			泌尿器科			形成外科
		精神科			脳神経外科			ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科
	●	外科			放射線科		●	総合診療
	●	整形外科		●	麻酔科			
	●	産婦人科		●	病理※			

注　関連施設等の場合は、各領域名の後に「※」を付しています。